



①延焼が続き、煙が立ち込める大槌町内の様子 ②火災の被害が深刻な吉里吉里地区の森林 ③大槌町山林火災の被災現場の調査 ④災害派遣福祉チーム

岩手・大槌町 山林火災緊急支援

現場の声に寄り添い、いち早く支援を届ける

2026年4月22日、岩手県大槌町で大規模な山林火災きりぎりが発生。吉里吉里地区と小槌地区を中心に延焼が続き、町の面積の約8%にあたる1,633ヘクタールが焼失したほか、負傷者2名、建物8棟の被害が確認されました。

Civic Forceは発災翌日に現地へスタッフを派遣し、ニーズ調査と緊急支援を開始。現場の声に寄り添いながら、支援物資の調達・配布や避難所の環境改善に取り組みました。5月29日には鎮火が宣言されましたが、生活復旧・復興に向けた中長期的な支援が求められます。

Civic Forceは引き続き、地元のパートナー団体等と連携しながら、ニーズに応じた支援活動を続けてまいります。

緊急支援活動の詳細はp2へ



草加市、草加・八潮地区 遊技業防犯協力会と 災害連携協定を締結

2026年6月26日、埼玉県草加市および草加・八潮地区遊技業防犯協力会と災害連携協定を締結しました。大規模災害時に、広い駐車場など設備が整った地域のパチンコホールを支援物資の供給拠点や地域住民へのトイレ・電源提供場所として開放すること、Civic Forceは企業と連携して支援物資を供給することを通じて、迅速かつ機動的な支援体制の構築を目指します。また、昨年から連携する和歌山県海南市の備蓄倉庫にも6月19日に物資を納入し、緊急時に備えた物流体制の整備を進めています。



岩手・大槌町 山林火災緊急支援 刻々と変わる被災地のニーズに応じて— 支援活動の記録

岩手県大槌町で発生した山林火災の翌日からCivic Forceは現地に入り、緊急支援を実施しました。現地での活動の記録をご紹介します。

4/22 山林火災発生 Ⅰ

23 スタッフを派遣

24 避難所にサーキュレーターを設置 Ⅱ

「避難所が寒い!」との声を受けて、70世帯・200人以上が避難する城山公園体育館にサーキュレーター8台を設置し、天井にたまった暖気を床面へ循環させました。

25～ 物資配布開始 Ⅲ Ⅳ

町内の栄養士と連携し、避難所での食事状況の聞き取りを行い、栄養補給用の野菜ジュース・豆乳を配布しました。また、佐賀県の備蓄倉庫から輸送した「衛生キット」(マスク・歯ブラシ・組み立て式コップ等)、連携企業提供のウェットシート等も届けました。

豆乳は血圧上昇を抑え、偏りがちな避難所食を補うのに最適。
迅速な支援に感謝します! by 大槌町栄養士

26 避難所に空気清浄機を設置 Ⅴ

火災により町内は煙で充満し、換気できない状況が続いたため、最大避難所の城山公園体育館に空気清浄機6台を設置しました。

煙のにおいが
気になって窓を
閉め切っていたけれど、
室内の空気が
改善された!

by 城山公園体育館避難者

29 炊き出し用の食材支援 Ⅵ

避難所の小槌地区・多目的集会所で、発災直後から炊き出しを続ける地元婦人会を支援するため、野菜や米、調味料を調達して届けました。

ご支援のおかげで避難者に温かい食事を提供できました!
「おいしい食事をありがとう」という感謝の声も寄せられています。 by 小槌地区婦人会

30 避難指示解除

一時最大で町人口の約3割にあたる3,257人に発令された避難指示が全面解除。

Staff Comments



Civic Force プログラムコーディネーター 田上琢磨

昨年の大船渡山林火災に続き、今回もいち早く現地に入り、避難者の声に耳を傾けながら支援を行いました。鎮火で一段落したように見えても、被災地では復旧・復興が続いています。引き続き、被災地のサポートに取り組みしますので、ぜひ関心をお寄せいただくと幸いです。

5/2 鎮圧宣言

29 鎮火宣言



東日本大震災／能登半島地震・豪雨 復興を担う団体を支える 「NPOパートナー協働事業」

本事業では、東日本大震災や能登半島地震の被災地で活動する団体と協働し、中長期的な復興のサポートや震災経験を伝える「記憶の伝承」を実施しています。

#わたしの3.11 ～15文字で伝えるメッセージ
最優秀賞作品

“もう”15年、“まだ”15年

2026年Civic Force公式キャッチコピー

東日本大震災

宮城 (一社)Team大川 未来を拓くネットワーク 「あおぞらおはなし会」を開催



「Team大川 未来を拓くネットワーク」は、2026年4月19日と6月28日に「あおぞらおはなし会」を開催。絵本の読み語りや地元の人が語る昔の大川のお話、手づくりおもちゃでの遊びを通じて、参加者は大川

の記憶に思いを馳せながら楽しい時間を過ごしました。すべての記憶と共に未来に向かって歩んでいきたいという思いで活動続ける同団体は、震災遺構・大川小学校での定期ガイドも行い、次世代への「記憶の伝承」にも力を注いでいます。

NEW

福島 もやい展実行委員会 アートで伝える、3.11の記憶— 「おれたちの伝承館」



福島県南相馬市小高区を拠点に活動する「もやい展実行委員会」。荒縄の強い結びを意味する「もやい」には、福島第一原発事故で断ち切られた人々のつながりを取り戻したいという思いが込められています。2023年開設の私設美術館「おれたちの伝承館」では、多様な表現者約25人による作品や原発事故関連資料など約100点を常設展示。NPOパートナー協働事業では、地域の方が気軽に集える多彩なワークショップやイベントを開催します。

福島 (一社)大熊未来塾 遺構と地域の未来を語り合う場 第5回を開催



2026年6月6日、福島県大熊町立熊町小学校の卒業生2名をゲストに迎え、41名が参加するトークイベントを開催。震災当時小学生だった二人が、同町で過ごした日々や社会人として町内で働く現在、そして未来への思いを語りました。除染により景観が変わる中、熊町小学校を「生きてきた証」として残してほしいという声とともに、

遺構としての価値や活用のあり方について参加者間で活発な意見交換が行われました。

アーカイブ映像はこちら



能登半島地震・豪雨

自由研究 珠州市 地域の声をアーカイブへ— 「本町ラジオ」

任意団体「自由研究」がインターネット上で運営する「本町ラジオ」では、地域住民らをゲストに招いたトークや珠州市の今昔、支援情報など多彩なコーナーを配信しています。2026年2月末放送の第3回では、Civic Force担当の公門がゲストとして招かれ、発災から時間が経つ中での珠洲の空気や率直な思いを語り合いました。今後もラジオを通じて、地域の声をアーカイブとして記録・発信していきます。



その他のパートナー協働事業の活動報告はこちら





緊急即応体制を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるための
さまざまな取り組みを行っています。
メディア掲載や協力企業・団体の皆様の
関連情報もお知らせします。

「女性支援・生理用品プロジェクト」 実施中

避難所や学校で生理中も女性が安心できる環境をつくるため、「女性支援・生理用品プロジェクト」を展開しています。本プロジェクトの趣旨にご賛同いただいた株式会社ナチュラルライフからは生理用品25パックのご寄贈（※写真参照）、株式会社クラウン・パッケージからは協賛金のご支援をいただきました。このたびのご協力に心より感謝申し上げます。



Yahoo! ネット募金でも
ご支援受付中



必要なモノを、必要なヒトにつなぐ 「Good Links」でより良い社会へ



「Good Links」は、企業が提供できる物資を被災地のNPOなどとマッチングするオンラインプラットフォームです。災害時の

被災者支援に加えて、平時には社会的・経済的に困窮する人々の支援に活用されています。災害時に物資やサービスの提供にご協力いただける企業を募集しています。詳しくはお問合せください。

Yahoo! ネット募金でも
ご支援受付中



鹿児島・防災フォーラムに登壇

2026年5月23日に鹿児島県鹿屋市で開催された、日本青年会議所鹿児島ブロック大会の「地域、家族で強くなる防災フォーラム」に専門家コメンテーターとして代表の根木が登壇。ゲストのつるの剛士さんとともに、家族で楽しく取り組む防災や身近で実践できる備えについて知見や経験を共有しました。

バーチャル音楽フェスで チャリティーブース出展



2026年4月18日に開催されたバーチャル音楽フェス「Virtual Music Festival -OTONONAKADE'26-」にて、Civic Forceはチャリティーブースを出展し、過去の災害支援の写真展示や募金活動を実施しました。

企業の皆様へ

寄付付き商品・サービスなど
様々な方法で
気軽にご支援いただけます!



1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額（1,000円単位）のご寄付で支えてください（クレジットカードのみ）。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6977180
- ゆうちょ：00140-6-361805
上記いずれも口座名義は「シャ」シビックフォース
- クレジットカード：
HP「オンライン募金」より ▶▶▶▶▶



SNSで最新情報をお届けします



シビックフォース

ニュースレターのバックナンバーはこちら▼
<https://www.civic-force.org/about/publication.html>

メールマガジン「被災地の今を知る」登録▼
<https://www.civic-force.org/mailmagazine/index.html>